



BULLETIN

☆国際会長(IP)

Edward Ong エドワード・オン
(シンガポール)

主 題: "Faith, Love, Action"
「信念、愛、行動」

スローガン: "Together Stronger"
「共に、より強く」

☆アジア太平洋地域会長(AP)

田上 正 (熊本むさし)

主 題: "Act now with faith and love!"
「信念と愛を持って行動しよう!」

スローガン: "Contribute to local society
together with YMCA and Youth!"
「YMCA、ユースと共に地域社会に
貢献しよう!」

☆西日本区理事(RD)

中井 信一 (奈良)

主 題: 「世界中の仲間とYYYライフを楽しま
しょう!!」

"Let's enjoy the YYY life together
with our friends all over the
world!!"

スローガン: 「あなたに寄り添う。あなたを忘れない。」

"Stay with you. Never forget
you."



CHARTERED 21.NOV'87
CLUB OFFICE
SANJO-YANAGINOBANBA
NAKAGYO-KU, KYOTO 604-8030 JAPAN
TEL (075) 231-4388 FAX (075) 255-2805

Kyoto wings

京都ウイングワイズメンズクラブブリン2025年8月1日発行/第39巻 第1号 通巻458
アドレス <http://www.kyotowings.com>

会 長 President 上田敦/Atsushi Ueda
副会長 VicePresident 本多悠祐/Yusuke Honda・木下敬悟/Keigo Kinoshita
書 記 Secretary 長谷川卓哉/Takuya Hasegawa・北川雅俊/Masatoshi Kitagawa
会 計 Accountant 奥田健登/Kento Okuda・谷口豊/Yutaka Taniguchi

2025. 12
Vol.462

★クラブ会長主題 『仲間とつながる、未来とつなげる ～明るく、楽しく、元気よく!』

●今月の聖句 「今日ダビデの町で、あなたがたのための救い主がお生まれになった」 ルカによる福音書 2章11節

『メンバー増強について』

中村 裕一

11月第一例会はEMC例会でした。西野EMC委員長が冒頭に基調スピーチを行い、メンバー増強の必要性と今後の対策についてお話しされました。その後、委員会ごとにテーブルを分かれ、メンバー増強について討議後、発表がそれぞれありました。「メンバー候補に来ていただいた例会、ワークの後会でのコミュニケーションの重要性」等、様々な意見が出ました。新しい血が入らない組織体はいずれ廃れます。各ワイズメンが、メンバー増強の重要性を認識して活動する事が肝要です。皆様頑張りましょう。



□ 第1例会 /11月6日(木) 19:00～ ホテル日航プリンセス京都にて
プログラム: EMCアワー

DATA OF NOVEMBER

●11月在籍者46名	第1例会	第2例会
メンバー	33名	32名
メネット	0名	0名
コメット	0名	0名
ゲスト	1名	1名
ビジター	0名	0名

●11月月間メイキャップ者数	0名
●11月月間出席率	70.6%
●BFポイント 切手	0 pt 累計
11月分 現金	0 円 累計
●ニコニコ 11月分	35,000 円 累計
●ファンド 11月分	0 円 累計

12月の強調テーマ ①

CE

「すべての人を一つにしてください。」ヨハネによる福音書17章21節。YMCAとワイズメンズの理想主義を愚直に掲げ、クラブ内外に発信しながら奉仕しましょう。

藪 秀実

クリスチャニティー委員長(近江八幡)

11月の例会

第二例会

日 時： 11月20日(木) 19:00～

場 所： ホテル日航プリンス京都

プログラム： ゲストスピーチ 「筆跡診断講演」

11月の第2例会では、ゲストスピーカーとして筆跡診断士事務所「オフィスりるも」より松本富美様をお迎えし、筆跡診断についてご講演いただきました。講演では、「筆跡とは何か」「なぜ筆跡を見ることで人の性格や行動傾向が分かるのか」といったテーマについて、分かりやすくご説明いただきました。また、代表として上田会長と森本ワイズが壇上に上がり実際に文字を書き、さらにメンバー自身も筆記を行うなど、体験型の内容となりました。実践を通じて筆跡診断の奥深さを知ることができ、今までにない貴重な体験ができた、印象に残る講演でした。(北川 雅俊)



12月の強調テーマ ②

IBC・DBC

締結しているクラブ同士で交流を深め、共同事業を検討しましょう。
締結を考えているクラブは他クラブを訪問し、交流を深めましょう

中西 賢一 国際・交流事業主任(熊本にし)

11月の事業参加

京都部ワイズデー

日 時： 11月9日(日)

場 所： 京都YMCA

11月9日京都部が中心となって京都YMCAでワイズデーが行われました。今回は三条通のイベントに参加するという形での開催でした。

具体的には、三条通の柳馬場から富小路の間で車両を通行止めとし、各店舗や道路沿いで様々なイベントがあったようです。その中でワイズメンズクラブとしては、京都部の各クラブがYMCA本館内でおもちゃ作りなど色々な体験ブースを設営したり、クラブの支援先の物品を販売したりという活動でした。我々ウイングクラブは、本館1階で支援先であるリブラン京都の物品販売やカフェ運営のお手伝いをするこでの参加になりました。当日はあいにく天候が悪かったため、ワイズメンやその家族以外の訪問者が少なく残念な部分もありましたが、元Jリーガーによるサッカー体験のほか、バスケットシュート体験、卓球ラリーショーなどもあり、それなりに楽しめたイベントであったように思います。参加されたメンバー、また京都部の皆様、大変お疲れ様でした。

(島本 浩晃)



リ・ブラン京都中京バザー

日 時: 11月24日(月・祝)

場 所: カトリック衣笠教会

11月24日(祝)、毎年ウイングがサポートしております「カトリック衣笠教会 ふれあいバザー」が盛大に開催されました。このふれあいバザーは、ウイングも長年にわたりサポートを行っております。

当日は朝からウイングメンバーが会場に集まり、まずはテントの設営作業を実施。スムーズに準備が進むよう連携し合い、万全の状態で来場者をお迎えできる環境を整えました。また、ウイングは自らもバザーに出店し、イベントを盛り上げる一員として活動いたします。ウイングブースでは、日用品をはじめ、季節の生花、お酒(ワインなど)といった多彩な商品をご用意し、多くのお客様に手に取っていただきました。今年はバザーの売上と支援金を合わせて134,050円を寄付することができました。中西CS委員長をはじめメンバー一丸となって施設の方々と工夫しながら商品を一緒に販売する時間はとても有意義でした。改めて地域とのつながりの大切さを実感する機会となりました。(北川 雅俊)



リトセンオートムフェスタ

日 時: 11月30日(日)

場 所: YMCA リトリートセンター

11月の最後の日曜日、秋晴れの最高の天気恵まれて、オートムフェスタが開催されました。今回は、スタンプラリー+ミニゲームの出し物があり子供達が、楽しそうにゲームをしている風景がありました。ウイングクラブでは、輪ごむ鉄砲のコーナーを設営し、食事は恒例の美味しいうどんでした。またステージでは、歌や楽器の演奏があり、紅葉の中、穏やかな休日の空気に包まれたオートムフェスタとなったと思います。僕は今回、娘と孫と参加したので、食べてばかりで、お手伝いしなくてすみませんでした。参加されたメンバーの方々、お疲れ様でした。僕はワークでいつも思うのですが、1年間のプログラムに各々のメンバーが参加されてウイングクラブは成り立っていると常に感じております。様々なプログラムに参加されているメンバーに感謝しております。

(佐藤 昌利)



韓国訪問

日 時： 11月14日(金)・15日(土)・16日(日)

場 所： 韓国仁川・ソウル

11月14日から16日にかけて、韓国仁川およびソウルを訪問し、新規IBC(International Brother Club)締結に向けた協議を行いました。

コロナ禍でのメンバー数減少により、従来のIBC締結先であった韓国金浦クラブが解散となって以降、2023年12月の初訪問から約2年にわたり、韓国仁川の南洞(ナンドン)クラブとの交流を重ねてまいりました。

今回の訪韓では、文(ムン)会長に仁川空港で出迎えていただき、文会長のご家族が経営されるお店での昼食を挟みながら、率直な対話の機会を持つことができました。

南洞クラブからは春の締結を目指したいとの意向が示され、その第一歩として1月初旬にウイングクラブの例会へ出席いただくことが決定いたしました。元金浦クラブのシン氏、ホン氏にもソウルで再会し帰国の途につきました。

国際間の交流における課題を乗り越え、新たなIBC締結に向けて着実に前進しています。(中村 誠司)



ボランティアビューロー 支援金

日 時： 11月6日(木)

場 所： ホテル日航プリンス京都

リトセン 60周年
記念募金の贈呈
を行いました。



YMCA NEWS :



【リトリートセンター開設60周年記念募金】

すでにご支援くださった皆さまに、心より感謝申し上げます。この場所が子どもたちや青少年の育ちの場としてさらに充実していくよう、今後も努めてまいります。引き続き、募金へのご協力をお願いいたします。詳細は下記二次元コード、または
<https://kyotoymca.or.jp/facilities/?p=1446>
を読み込んでご覧ください

